

ハクサイ(野菜類、結球アブラナ科葉菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(日数)	使用回数	使用条件	べと病	白さび病	白斑病	菌核病	黒斑病	炭疽病	根こぶ病	根くびれ病	ピシウム腐敗病	黄化病	苗立枯病	尻腐病	黒斑細菌病	軟腐病	
マスタピース水	-		1	-															◎	◎
スターナ水	31		7	3															◎	◎
トップジンM水	1		7	2				◎	◎		◎									
ベンレート水	1		7	2				◎	◎		◎									
エトフィンFL	22		7	3		◎														
			*c	1								◎								
アフエットFL	7		1	3				◎	◎	◎								◎		
バレード20FL	7		*f	1	☆				◎								®			
				1	3			◎	◎	◎										
アミスター20FL	11		7	4		◎	◎	◎		◎										
スクレアFL	11		1	3					◎		◎									
ストロビーFL	11		3	3		◎		◎		◎										
ファンタジスタ顆水	11		3	3				◎	◎	◎	◎									
メジャーFL	11		3	3		◎	◎	◎		◎										
オラクル顆水	21		*c	2								◎								
				1	☆							◎								
オラクル粉	21		*a	2								◎		◎						
			*c									◎								
ライメイFL	21		7	4		◎	◎													
ランマンFL	21			3	4		◎	◎						◎						
				14	1							◎								
			*b	1	☆							◎								
フロンサイドSC	29		*c	1								◎					◎		◎	
フロンサイド粉	29		*a	1								◎			◎					
ロブラール水	2		14	3				◎	◎	◎										
リゾレックス水	14		14	3														◎		
リゾレックス粉	14		*c	1														◎		
ポリオキシンAL溶	19		7	5					◎											
フェスティバル水	40		3	3		◎														
レーバスFL	40		7	3		◎														
オリゼメート顆水	P2		*e	1	☆														◎	◎
ネビジン粉	36		*a	1								◎								
ネビリュウ粉粒	36		*a	1								◎								
ピシロックFL	U17		1	3		◎	◎							◎						
バリダシン液5	U18		3	3															◎	◎
キノンドーFL	M1		30	5																◎

ハクサイ

ハクサイ(野菜類、結球アブラナ科葉菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(日数)	使用回数	使用条件	べと病	白さび病	白斑病	菌核病	黒斑病	炭疽病	根こぶ病	根くびれ病	ピシウム腐敗病	黄化病	苗立枯病	尻腐病	黒斑細菌病	軟腐病	
ヨネボン水	M1		14	4		◎														◎
ジマンダイセン水	M3		30	1		◎		◎		◎										
ペンコゼブ水	M3		30	1		◎		◎		◎										
オーソサイド水80	M4		7	5		◎		◎		◎	◎					◎				
ダコソイル粉	M5		*a	1								◎	◎							
ダコニール1000FL	M5		7	2		◎	◎	◎		◎										
フォリオゴールドFL	4・M5		7	2		◎	◎							◎						
リドミルゴールドMZ顆水	4・M3		30	1		◎								◎						
カセット水	31・24		21	2															◎	◎
マテリーナ水	31・25		14	3																◎
ソータルWDG	31・14		14	3														◎		◎
ナレート水	31・M1		30	3		◎		◎		◎										◎
ダコレート水	1・M5		7	2		◎			◎	◎										
ジャストフィットFL	43・40		7	3		◎	◎													
シグナムWDG	7・11		7	3		◎	◎	◎	◎	◎	◎							◎		
ベジセイバーFL	7・M5		7	2		◎	◎	◎	◎	◎										
ゾーベックエンカンティアSE	11・49		14	2		◎														
ホライズンDF	11・27		14	3		◎	◎													
アミスターオブティFL	11・M5		7	2		◎	◎	◎		◎										
ドーシャスFL	21・M5		7	2		◎	◎	◎		◎										
カンパネラ水																				
ベネセット水	40・M3		30	1		◎														
カーニバル水	40・M5		7	2		◎		◎		◎										
プロボーズ顆水	40・M5		7	2		◎	◎	◎		◎										
カーゼートPZ水	27・M3		30	1		◎														
ブリザード水	27・M5		14	2		◎														
シトラノFL	M1・M5		30	2		◎		◎												◎

注:花芯ハクサイは農薬取締法上はサントウサイ…非結球アブラナ科葉菜類の項を参照のこと

*a:播種又は定植前 *b:定植前日～当日 *c:定植前 *e:定植時

*f:育苗後半～定植当日 ®:リゾクトニア菌による病害

☆:セル成型育苗トレイまたはペーパーポットで育苗している苗に灌注処理する。なお、この使用方法は、土耕栽培による苗には使用できない。

ハクサイ (野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用 機 構 分 類 コ ー ド	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	使 用 条 件	ア ブ ラ ミ ウ マ シ 類	ア ザ ミ ウ マ チ 類	カ ブ ラ ハ バ チ 類	カ ブ ラ ハ バ チ 類	コ ナ ガ シ ガ	ア オ タ バ コ ガ シ	オ ト ウ モ ジ ウ シ	シ ロ イ チ モ ジ ウ シ	ハ ス モ ン ヨ ト ウ	ハ イ マ ダ ラ ノ メ イ ガ	ネ キ リ ム シ 類	ウ ワ バ シ 類	キ ス ジ ノ ミ ハ ム シ	コ ガ ネ ム シ 類 幼 虫	コ オ ロ ギ 類	ナ メ ク ジ 類	カ タ ツ ム リ 類	そ の 他 害 虫
スピノエース顆水	5		3	3				◎	◎	◎		◎			◎	マ							
サブリナFL	11A		*c	-						◎	◎	◎											
ジャックポット顆水	11A		*e	-						◎	◎	◎	◎										
ゼンターリ顆水	11A		*c	-						◎	◎	◎											
チューレックス顆水	11A		*e	-						◎	◎	◎	◎										
スラゴ粒 ^{*1}	UN		*r	-																	◎	◎	
デナボン5%ベイト粒	1A		21	3										◎		◎				コ			ダ
オルトラン水	1B		30	1		◎		◎	◎	◎		◎		◎									
オルトラン粒	1B		*a	1		◎			◎	◎	◎					◎							
サイアノックス乳	1B		14	2		◎			◎	◎	若						マ成						
ジェイエース溶	1B		30	1		◎			◎	◎	◎		◎										
ジェイエース粒	1B		*a	1		◎			◎	◎	◎												
ダイアジノン粒5	1B		*b *a	1												◎			◎				ケ
ダイアジノン粒10	1B	劇	*a	1												◎							
ネキリエースK粒	1B		*k	1												◎				◎			
ネマキック粒	1B		*s	1																			セ
マラソン乳	1B		1	5		◎	◎		◎	◎													
アディオソ乳	3A		7	5		◎			◎	◎	◎												ハ
ガードベイトA粒	3A		*d	5												◎							
サイハロン乳	3A	劇	14	3		◎			◎	◎	◎												
テルスター水	3A		21	4		◎			◎	◎	◎												
トレボン乳	3A		7	3		◎			◎	◎	◎												
トレボンMC	3A		7	3		◎					◎												
フォース粒	3A	劇	*a	1												◎							
マブリック水20	3A	劇	21	2		◎			◎	◎	◎						マ						
アクタラ顆溶	4A		*g 3	1 3	☆	◎																	
アクタラ粒5	4A		*g *i	1		◎			◎	◎													
アドマイヤー顆水	4A	劇	7	2		◎																	
アドマイヤーFL	4A	劇	7	2		◎																	
アドマイヤー1粒	4A		*a	1		◎																	

ハ
ク
サ
イ

ハクサイ (野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機 構分類 コード	人畜 毒 性	使用 時期 (日数)	使 用 回 数	使 用 条 件	ア ブ ラ ミ ウ マ シ 類	ア ザ ミ ウ マ シ 類	カ ブ ラ ハ バ チ 類	カ ブ ラ ハ バ チ 類	コ ナ ガ シ	ア オ タ バ コ ガ シ	オ ト ウ ム シ 類	シ ロ イ チ モ ジ ヨ ト ウ シ 類	ハ ス モ ン ヨ ト ウ シ 類	ハ イ マ ダ ラ ノ メ イ ガ シ 類	ネ キ リ ム シ 類	ウ ワ バ シ 類	キ ス ジ ノ ミ ハ ム シ 類	コ ガ ネ ム シ 類 幼 虫	コ オ ロ ギ 類	ナ メ ク ジ 類	カ タ ツ ム リ 類	そ の 他 害 虫
アルバリン顆溶 スタークル顆溶	4A		3	2	◎													◎					サ
アルバリン粒 スタークル粒	4A		*a	1	◎				◎◎						◎								
ダントツ溶	4A		1	2	◎				◎◎														
ダントツ粒	4A		*f	▲	◎										◎								
			*g	1	◎				◎◎						◎◎								
			*a		◎				◎◎						◎								
モスピラン顆溶	4A	劇	14	3	◎			◎◎◎															
モスピラン粒	4A		*a	1	◎				◎◎														
			*h		◎				◎◎						◎								
トランスフォームFL	4C		3	3	◎																		
ディアナSC	5		1	2		◎			◎◎◎◎				◎◎◎	◎◎◎	◎								
アニキ乳	6		3	3			◎◎	◎◎◎◎					◎◎◎	◎◎		◎							サ
アフーム乳	6		7	3					◎◎◎			◎											
コルト顆水	9B		3	3	◎																		
コテツFL	13	劇	1	2				◎◎◎	◎◎			◎											
パダンSG溶	14	劇	7	3	◎	◎	◎◎◎															◎	
リーフガード顆水	14	劇	7	3	◎				◎◎						◎							◎◎	
アタブロン乳	15		7	4					◎◎◎			◎	◎		マ								
カスケード乳	15		7	2					◎◎◎			◎											
ノーモルト乳	15		7	2					◎◎◎			◎				マ							
マッチ乳	15		7	3					◎◎◎														
ファルコンFL	18		3	2						◎		◎											
マトリックFL	18		7	4								◎											
ハチハチFL	21A	劇	14	2	◎				◎◎						◎			◎				◎	サ
ハチハチ乳	21A	劇	14	2	◎				◎◎						◎							◎	
マイトクリーン水	21A		7	2					◎														
トルネードエースDF	22A		7	2			◎◎◎◎	◎◎◎◎				◎◎◎◎	◎◎◎◎	◎◎◎◎	◎◎◎◎	◎◎◎◎							
ファイントリムDF	22A		7	2			◎◎◎◎	◎◎◎◎	◎◎◎◎			◎◎◎◎	◎◎◎◎	◎◎◎◎	◎◎◎◎	◎◎◎◎							
アクセルFL	22B		1	3			◎◎◎◎	◎◎◎◎	◎◎◎◎			◎◎◎◎	◎◎◎◎	◎◎◎◎	◎◎◎◎	◎◎◎◎			◎				サ
アクセルベイト粒	22B		7	3										◎		◎				◎			
モベントFL	23		7	3	◎																		
フェニックス顆水	28		1	3					◎◎◎◎			◎◎◎◎	◎◎◎◎	◎◎◎◎									

ハ
ク
サイ

ハクサイ(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機 構分類 コード	人畜 毒 性	使用 時期 (日数)	使 用 回 数	使 用 条 件	ア ブ ラ ミ ウ マ シ 類	ア ザ ミ ウ マ チ 類	カ ブ ラ ハ バ チ 類	カ ブ ラ ハ バ チ 類	コ ナ ガ シ	ア オ タ バ コ ガ シ	オ ト ウ モ ジ ヨ ト ウ	シ ロ イ チ モ ジ ヨ ト ウ	ハ ス モ ン ヨ ト ウ	ハ イ マ ダ ラ ノ メ イ ガ シ	ネ キ リ ム シ 類	ウ ワ バ シ 類	キ ス ジ ノ ミ ハ ム シ 類	コ ガ ネ ム シ 類 幼 虫	コ オ ロ ギ 類	ナ メ ク ジ 類	カ タ ツ ム リ 類	そ の 他 害 虫
プリロソソ粒	28		*m 1	1	△	◎				◎	◎				◎								
プレバソンFL5	28		*m 1	3	☆			◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎								
プレバソン粒	28		*m 1	1	△					◎	◎				◎								
ベネビアOD	28		1	3		◎				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎						
ベリマークSC	28		*m	1	☆	◎		◎	◎	◎	◎			◎	◎								
ヨーバルFL	28		1	3		◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎								
ウララDF	29		1	2		◎																	
グレースシア乳	30		7	2		◎				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎						
プロフレアSC	30		1	3				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			◎					サ
ファインセーブFL	34	劇	7	2						◎	◎												
プレオFL	UN		7	2						◎	◎	◎											
ナメトックスハウス	-		*r	6																		◎	
ハクサップ水	1B・ 3A	劇	1	5		◎				◎	◎	◎	◎	◎	◎		マ						
アベイル粒	4A・ 28		*m	1		◎				◎	◎				◎								
キックオフ顆水	4A・ 28		*p	1	☆	◎				◎	◎	◎			◎								
ジュリボFL	4A・ 28		*m 3	1 3	☆	◎				◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎				
ミネクトデュオ粒	4A・ 28		*t *a *i	1		◎				◎	◎				◎				◎				
アフファームエクセラ顆水	6・ 15		7	3						◎	◎	◎			◎								
アクセルキングFL	21A・ 22B	劇	14	2		◎	ネ			◎	◎	◎			◎								ナ

注：花芯ハクサイは農薬取締法上はサントウサイ…非結球アブラナ科葉菜類の項を参照のこと。

*1：「ナメクジ類、カタツムリ類、アフリカマイマイ、ヒメリンゴマイマイが加害する農作物等」での登録。

☆：セル成型育苗トレイ又はペーパーポットで育苗している苗に灌注処理する。なお、この使用法は、土耕栽培による苗には使用できない。

△：セル成型育苗トレイ又はペーパーポットの上から均一に散布する。

▲：覆土後セル成型育苗トレイ又はペーパーポットの上から散布する。

ハ
ク
サ
イ

ハクサイ(野菜類の登録農薬も使用できる)

*a:定植時
*b:播種時又は定植時
*c:発生初期(但し収穫前日まで)
*d:播種時～生育初期
*e:発生初期(但し結球開始前まで)
*f:播種時
*g:育苗期後半
*h:定植前日～定植当日
*i:播種前
*k:播種時又は定植時～生育初期(但し収穫14日前まで)
*m:育苗期後半～定植当日
*o:定植前まで
*p:定植前日～定植時
*q:育苗期後半～定植時
*r:発生時
*s:播種又は定植前
*t:播種覆土後～育苗期後半
ケ:ケラ コ:コオロギ サ:ダイコンサルハムシ(ダイコンハムシ)
セ:ネグサレセンチュウ及びネコブセンチュウ ダ:ダンゴムシ
ナ:ナモグリバエ ネ:ネギアザミウマ マ:タマナギンウワバ
若:若～中齢幼虫 成:成虫 ハ:ハクサイダニ

ハクサイ(野菜類、結球アブラナ科葉菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
べと病	生育期	<p>・発生を認めたら次の薬剤のいずれかを散布する。</p> <p>ジマンダイセン水和剤 600倍 ストロビーフロアブル 3000倍 ダコニール1000(FL) 1000倍 ランマンフロアブル 2000倍 リドミルゴールドMZ (顆水) 1000倍</p>	<p>各種アブラナ科野菜に発生する。</p> <p>9月中旬より発生しはじめ10～11月にかけてまん延する。特に低温多湿のときに多発しやすい。</p>
白さび病	生育期	<p>・発生を認めたら次のいずれかの薬剤を初期に散布する。</p> <p>アミスター20フロアブル 2000倍 ダコニール1000(FL) 1000倍 フォリオゴールド(FL) 1000倍 ホライズンドライフロアブル 2500倍</p>	
白斑病・黒斑病	生育期	<p>・発生を認めたら次の薬剤のいずれかを散布する。</p> <p>ジマンダイセン水和剤 600倍 ストロビーフロアブル 3000倍 ダコニール1000(FL) 1000倍 ロブラール水和剤 1000～1500倍</p>	<p>いずれの病気も周年発生するが、特に晩秋から初冬にかけて雨の多い年に多発しやすい。各種アブラナ科植物に発生する。</p>
根こぶ病	播種前または定植前	<p>1. 常発生地ではアブラナ科以外の作物との輪作を心がける。</p> <p>2. 畑の排水を良好にするか、または高畦栽培とする。</p> <p>3. 石灰施用により土壌酸度を矯正する。</p> <p>4. 定植直前に次の薬剤のいずれかを土壌混和する。</p> <p>オラクル粉剤 全面処理 30kg/10 a 作条処理 20kg/10 a</p> <p>ネビジン粉剤 全面処理 20～30kg/10 a 作条処理 20kg/10 a</p> <p>フロンサイド粉剤 全面処理 30～40kg/10 a 作条処理 15～20kg/10 a</p> <p>5. 定植前日～当日に次の薬剤をセル苗に灌注する。</p> <p>ランマンフロアブル△ 500倍</p>	<p>各種アブラナ科作物に発生し、土壌伝染する。ダイコンでは被害はほとんど見ない。</p> <p>夏まき栽培で被害が大きく、夏から秋にかけて高温多雨の年に多発する。</p> <p>薬剤は表層10～15cmの土壌と十分に混合する。</p> <p>△ 2ℓ/セル成型育苗トレイ(30×60cm、土壌量約2.5～7ℓ)</p>

ハクサイ(野菜類、結球アブラナ科葉菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
軟腐病	播種時	・低湿地での栽培をさけ、排水を良好にする。	病原細菌は茎葉の傷口から感染する。 夏～秋にかけて高温多湿の年、秋まきに多発する。台風の後には多発しやすいので、台風直後には薬剤散布を励行する。降雨直後の作業は発病を助長する。 *野菜類での登録
	生育期	1. キスジノミハムシ、コオロギその他の害虫を駆除する(害虫の項参照)。 2. 台風や強い風雨など多発が予測される場合には、次の薬剤のいずれかを予防散布する。 カセット水和剤 1000倍 キノンドーフロアブル 1000倍 ナレート水和剤 600～1000倍 Zボルドー(水)* 500倍 3. 発病株はすみやかに処分する。	
モザイク病・えそモザイク病	生育期	1. 播種後30日間寒冷紗を被覆する。 2. シルバーマルチ(ムシコン等)やマルチフィルムを用いてマルチ栽培する。 3. アブラムシ類を防除する(アブラムシ類の項参照)。 (夏から秋にかけて高温、乾燥の続く年、秋まきに多発する。マルチ栽培では高温障害に注意する)	アブラナ科野菜およびその他多くの作物、雑草などに広く発生し、アブラムシ類によって媒介される。 えそモザイク病は葉に多数のえそ(小黒点)を生じ、べと病と誤認しやすい。
アブラムシ類	播種時	・寒冷紗などによる被覆栽培や光反射マルチシート等で有翅虫の着生を防止する。	アブラムシは汁液を吸収して加害するだけでなく、ウイルス病を媒介するので、幼苗期の防除を徹底する。 △幼苗期に使用すると薬害が生じる事がある。
	定植時	・次の薬剤を植穴に施用し、土と混ぜる。 モスピラン粒剤 1g/株	
	生育期	・生育初期は定期的に、その後は発生に応じて次の薬剤のいずれかを散布する。 ウララDF 2000～3000倍 オルトラン水和剤 1500～2000倍 モスピラン顆粒水溶剤△ 2000～4000倍	
カブラハバチ	生育期	1. 被覆により成虫の飛来を防ぐ。 2. 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 マラソン乳剤 1000倍 モスピラン顆粒水溶剤△ 4000倍	ニホンカブラハバチとカブラハバチの2種が主で、春と秋に発生が多い。 △幼苗期に使用すると薬害が生じる事がある。

ハクサイ(野菜類、結球アブラナ科葉菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
コナガ	定植期	1. コナガコン#を8~10m間隔に支柱を立て、たるまないように畝に平行に100~110m/10aまたは20cmチューブを200本/10a設置する。 2. 次の薬剤のいずれかを植穴土壌混和する。 オルトラン粒剤 3~6kg/10a (1~2g/株) モスピラン粒剤 1g/株	・発生回数が多く、春から初冬まで発生加害する。 #オオタバコガに対する登録も持つ。
	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アタプロン乳剤 2000倍 アフーム乳剤 1000~2000倍 エスマルクDF* 1000~2000倍 コテツフロアブル 2000倍 スピノエース顆粒水和剤 2500~5000倍 ディアナSC 2500~5000倍 パダンSG水溶剤 1500倍 フェニックス顆粒水和剤 2000~4000倍 マッチ乳剤 2000~3000倍	抵抗性を獲得しやすいので同薬剤・同系統の薬剤を連用しない。 *野菜類での登録
アオムシ	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アフーム乳剤 1000~2000倍 エスマルクDF* 1000~2000倍 オルトラン水和剤 1500~2000倍 ノーモルト乳剤 2000倍	老熟幼虫は薬剤が効きにくいので、小さいうちに駆除する。 *野菜類での登録
オオタバコガ	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 フェニックス顆粒水和剤 2000~4000倍 プレオフロアブル 1000倍	
ヨトウムシ	生育期	1. 卵塊で産卵され、若齢期は集団で見つけ次第葉ごと処分する。 2. 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アフーム乳剤 1000~2000倍 オルトラン水和剤 1500倍 サブリーナフロアブル 1000倍	薬剤は葉裏に丁寧に散布する。 老熟幼虫は薬剤が効きにくい。

ハクサイ(野菜類、結球アブラナ科葉菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
ハスモン ヨトウ	生育期	<p>1. 卵塊で産卵され、若齢期は集団でいるので見つけ次第葉ごと処分する。</p> <p>2. 幼虫若齢期に次の薬剤のいずれかを散布する。</p> <p>アタブロン乳剤 2000倍</p> <p>フェニックス顆粒水和剤 2000～4000倍</p>	春から初冬まで数回の発生をするが、多くなるのは8月下旬以降である。時に大発生となる。
ハイマダ ラノメイ ガ(ダイコ ンシンク イムシ)	育苗後期～ 定植時	<p>・次の薬剤のいずれかを処理する。</p> <p>アルバリン粒剤 植穴土壌混和 #3 3 g/株</p> <p>スタークル粒剤 植穴土壌混和 #3 3 g/株</p> <p>プレバゾンフロアブル5 セル苗等に灌注 #1、#4 100倍</p> <p>プレバゾン粒剤 株元散布 #5 1 g/株</p> <p>セル苗等に散布 #2、#4</p> <p>モスピラン粒剤 株元散布 #6 0.5 g/株</p>	<p>#1セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(約30×60cm、使用土壌約1.5～4ℓ)当り0.5ℓ。土耕の育苗床では使用できない。</p> <p>#2セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(約30×60cm、使用土壌約1.5～4ℓ)当り50g。土耕の育苗床では使用できない。</p> <p>#3定植時</p> <p>#4育苗期後半～定植当日</p> <p>#5育苗期後半～定植時</p> <p>#6定植前日～定植当日</p>
	幼苗期	<p>・次の薬剤のいずれかを散布する。</p> <p>アクセルフロアブル 1000倍</p> <p>スピノエース顆粒水和剤 2500～5000倍</p> <p>チューンアップ顆粒水和剤* 2000～3000倍</p>	<p>夏が高温乾燥のときに多発する傾向があり、8月上旬以降急増する。</p> <p>幼虫が芯部に食入してからは防除が難しいので、早期に防除する。</p> <p>*野菜類での登録</p>
ネキリム シ類		<p>・発生量は多くないので土を調べ、幼虫を捕殺する。</p>	
	定植時	<p>・次の薬剤を施用する。</p> <p>ダイアジノン粒剤10 3kg/10 a</p>	
	生育期	<p>・発生を見たら次の薬剤を株元に施用する。</p> <p>デナポン5%ベイト(粒) 3～6kg/10 a</p>	

ハクサイ(野菜類、結球アブラナ科葉菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
タマナギ ンウワバ	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アタブロン乳剤 2000倍 マブリック水和剤 1000～2000倍	
キスジノ ミハムシ	生育期	・発芽直後から本葉7～8葉期まで次の薬剤のいずれかを散布する。 アルバリン顆粒水溶剤 2000倍 サイアノックス乳剤△(成虫) 1000～2000倍 スタークル顆粒水溶剤 2000倍	△幼苗期および結球期直前は薬害の恐れがあるため使用しない。
コオロギ 類	播種後または生育初期	・次の薬剤を施用する。 ネキリエースK(粒) 3kg/10a	
その他の病害虫		ヤサイゾウムシ	